

令和7年3月28日

出張報告書

栗山町議会議長

鵜川和彦様

栗山町議会議員

齊藤義崇



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 令和7年3月27日
- 2 出張先 東京都
- 3 調査事項 ライドシェアの基礎と課題
 交通崩壊の解決策と各地の事例
- 4 関係書類 別紙のとおり



『地域の足』が無くなる？ 交通空白解消セミナー

講師 井原 雄人

いはら ゆうと

早稲田大学 スマート社会技術融合研究機構 研究院客員准教授
合同会社ビジュアライズ 共同代表
早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科満期退学
博士（学術・早稲田大学）

【紹介】

大学における研究成果を実際の社会で活用することを目的に、電動バスや燃料電池車両の開発からそれらを活用した地域公共交通の計画策定、地域が主体となったコミュニティ交通導入を実施。

東京
開催

～地域からバス、電車、タクシーが無くなる？今地方議員が取り組むべき課題～

2025

1/16(木) 2/20(木) 3/26(水)

交通空白と地域公共交通の役割①

10:00～12:30

- ・用語の定義で役所に騙されるな
- ・人口減少と高齢化を数値で確認
- ・地域公共交通の定義と範囲のおさらい
- ・地域公共交通の役割と課題
- ・人口減少時代のまちづくりと交通の関係とは

交通空白と地域公共交通の役割②

14:00～16:30

- ・地域交通法の改正の歴史と意図
- ・競争どころではなくなった時代
- ・地域公共交通計画の突っ込みどころ
- ・自治体の役割の再確認
- ・議員に取り上げてほしい交通課題

2025

1/17(金) 2/21(金) 3/27(木)

ライドシェアの基礎と課題

10:00～12:30

- ・政府の交通空白解消本部の議論をおさえる
- ・日本版ライドシェアの全国展開？
- ・公共ライドシェア、日本版ライドシェア、乗合タクシー、コミュニティバス、デマンド運行の定義と役割
- ・地域の足対策と観光の足対策

交通崩壊の解決策と各地の事例

14:00～16:30

- ・交通崩壊は既に始まっている
- ・ローカル鉄道の再構築に関する仕組みと支援例
- ・交通税導入の検討と財源策
- ・自動運転ロードマップ
- ・DXGX新しいモビリティサービス

↑ FAX 050-6868-9679 ↑

お申込みは  FAX または  メールにて

お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。

 メール申込み方法

mail@chihogiken.or.jp

 FAX申込み書

申込書に記名の上、FAXで050-6868-9679宛にお送りください。
参加される講座のチェックボックスへ ☒ してください。

in 東京

	1/16 木曜日	2/20 木曜日	3/26 水曜日		1/17 金曜日	2/21 金曜日	3/27 木曜日
交通空白と地域公共交通の役割① 10:00～12:30	☐	☐	☐	ライドシェアの基礎と課題 10:00～12:30	☐	☐	☒
交通空白と地域公共交通の役割② 14:00～16:30	☐	☐	☐	交通崩壊の解決策と各地の事例 14:00～16:30	☐	☐	☒

お名前	(フリガナ) サイトウ ヨシノカ 齊藤 義崇	貴議会名	栗山町議会 (2期目)
電話番号	(0123) 73-7517	FAX番号	(0123) 72-1233
E-mail	@		
領収書宛名	本人様名 ・ その他 ()		

会場の参加をせず、
資料等を郵送でのご希望の方は
チェックしてください

☐ 当日不参加(資料、USB動画データ、領収書 郵送希望)
動画データの無断転載等はないことに同意して申込みます
※定員がございますので、チェックされた方は来場されてもご入場をお断りさせていただきます。
必ず欠席される方のみチェックしてください。

郵送先の住所 ※郵送希望の方は
ご記入ください

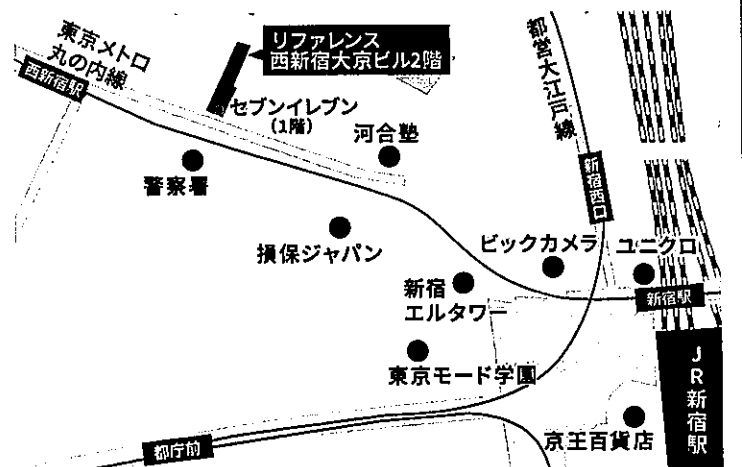
郵便番号 ()

開催場所 in 東京

リファレンス西新宿大京ビル 2階

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目21-3

- ▶ 東京メトロ丸の内線「西新宿」駅
[1番] 出口より 徒歩1分
- ▶ 都営大江戸線「新宿西口」駅
[D4番] 出口より 徒歩8分



受講料

1 講座 15,000円(税込)

※チェックボックス1つにつき15,000円となります

受講料は「受講確認書」到着後に
事前にお振込みをお願いします。

※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問合せ
事務局

地方議員研究会

☎ 050-6868-9678

☎ 050-6868-9679

✉ mail@chihogiken.or.jp

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-2-2 大阪駅前第2ビル2階5・6号室

日 時	令和7年3月27日(10:00~12:30)(14:00~16:30)
視 察 先	地方議員研究会 (東京都新宿区西新宿7丁目21-3) リファレンス西新宿大京ビルにて研修会
調査事項	ライドシェアの基礎と課題 交通崩壊の解決策と各地の事例 (研修会を受講・参加)
対 応 者	10:00~12:30 14:00~16:30 講師 井原雄人 早稲田大学スマート社会技術融合研究機構 電動車両研究所 研究員客員准教授
1. 視察目的	栗山町も公共交通が廃線などにより、不便さが増している。町営バスは運営されているものの、課題の多い施策である。 研修を受けることで、何等かの解決に糸口を探り、一般質問や質疑に役立てたい。
2. 視察内容	「ライドシェアの基礎と課題」 10:00~12:30 日本版ライドシェア(自家用車活用事業)について、規制緩和の現状、2024年度政策検討の内容、安全面の点から解説がなされた。特に道路輸送法における自家用白ナンバーの位置づけ、デマンド交通との違いなど詳しく講義された。 「交通崩壊の解決策と各地の事例」 14:00~16:30 コロナ過でより拍車が掛かった地域交通の崩壊の現状と課題、自治体(公)の役割、地域資源(人・物・資金)の確保、自動運転の社会実装、電動運転技術について、優良・先進事例を用いた詳細な解説と講義を受けた。
3. 主な質疑	終日研修において、講師に対して質疑は行わなかった。

4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	コロナ過で公共交通の利用度が減少し、交通事業者に経営的なダメージを与えた。補助等で自治体も支えたが、地域公共交通の不便に拍車をかけた。撤退した交通機関や、交通業者が多い地区では、不便が進んだ。このため、特定地域（国が定める）において、陸運局の許可を得て、法定協議会の決定で、日本型ライドシェアを進める自治体が増えている。 道路輸送法は、業種や車種の分類を規定しているが、今注目されているのは、自家用白ナンバーで行える公共ライドシェアと日本版ライドシェアがある。前者は自治体、自治会、NPOなどが主体で行う。後者は限られた地域でタクシーが不足する場合に運行できる。地域が定めた法定協議会で首長が取り決めることができる。 これらの公共交通の代替案となる手法と事例を学んだが、デマンド定額タクシー、公共ライドシェアの2つの手法が栗山町の交通網整備を向いていると感じた。自治体域内や周辺への利便を向上させることで、不便を理由に進む過疎にブレーキをかけることにつながるのではないだろうかとも感じた。 今後は先に受講した「交通空白と地域公共交通の役割」とこの研修で得た情報を役立てつつ、昨年、策定された栗山町地域公共交通計画（令和6～10年）を検証し、令和7年6月定例会議において一般質問を行い、栗山町での公共交通網の整備に向けた政策提案を行いたい。
---------------------------------------	---